

開催日時 2021(令和3)年2月6日(土)13時00分～16時10分

会場 Web開催 Zoomを使用

参加者数 33名(会員29名,非会員4名)

テーマ・講師

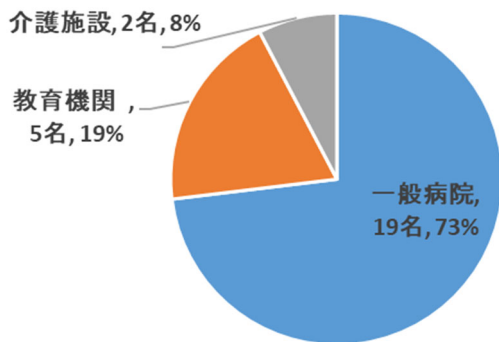
1. 「認知症疾患の薬物療法と認知症サポートチームにおける医師の役割」
名古屋大学医学部附属病院老年内科・認知症ケアサポートチーム 渡邊 一久先生
2. 「認知症疾患の非薬物療法と認知症サポートチームにおける看護師の役割」
名古屋大学医学部附属病院看護部・認知症ケアサポートチーム 勅使川原 元先生



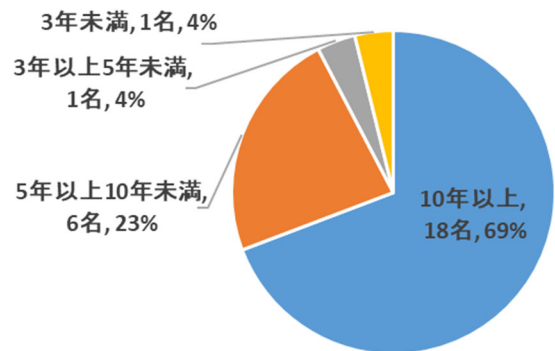
アンケート結果・感想 (回収数26,回収率78.8%)

1. 参加者の概要および研修設定に対する意見

- 1) 会員(24),非会員(2)
- 2) 現在の勤務先



3) 看護師経験年数



4) 今回の研修を知ったきっかけ(複数回答)

老年看護学会ホームページ(18),学会からのメール(9),ニュースレター(2)
上司の紹介(1),学会関係者の紹介・FAX(1),ポスター(0)
修了した認定看護師教育課程の教員からの案内(1)

- 5) 開催時期 良い(26),悪い(0) <理由・希望時間> 土日開催なら特に希望時期はなし。(1)
- 6) 開催時間 良い(24),悪い(2) <理由・希望時間> もう少し短く,2時間程度がよい。(1)
少し長く感じた(1)

7) 受講動機（複数回答）

テーマに関心があった（26），参加費が安かった（8），講師に関心があった（3）
遠方なのでオンライン開催で参加しやすかった（3），上司の勧め（1）

8) 会費

ちょうど良い（24）もっと高くてもよい（2）＜理由＞3,000～5,000円（1）5,000千円でもよい（1）

2. 研修の内容について

1) 本日のテーマについて

非常に興味がある（20），まあ興味がある（6）

2) 期待通りであったか

期待通り（7），まあ期待通り（14），どちらでもない（3），あまり期待通りでない（2）

3) 老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に必要（23），まあ必要（3）

4) 今後も本学会主催の研修に参加したいですか

とても参加したい（19），まあ参加したい（7）

3. 今後、研修として取り上げてほしいテーマ、あるいは日本老年看護学会への要望

- ・高齢者の薬物療法
- ・高齢者の人工栄養、透析医療
- ・夜間頻尿による不眠
- ・高齢者への緩和ケア、看取り期における緩和ケア
- ・高齢者に対するコロナ対応
- ・せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・認知症ケア
- ・高齢者ケア
- ・認知症ケア加算時の認知症高齢者の日常生活自立度が入院中の患者さんの症状に当てはめるときに認知症での症状か身体機能的に落ちているのか、難聴や視力障害等のある患者さんに対してとてもわかりにくい時があり、悩むことが多いため、ケア加算算定に関する研修を行ってほしい。
- ・認知症の基本的な知識については割愛し、実際の医師や看護師が取り組んだ事例や方法、工夫していることなども知ることができるとありがたい。
- ・現在教育現場にいるため、臨床の情報を知りたい。
- ・もう少し、チームとしてどう動いているのか知りたい。
- ・一部講義を聴けなかった部分があるが、オンデマンド配信はないか。（2）
- ・事例配布の講義資料について、文字が小さくて読めないものがある。メモ欄は必要ないため、1枚のパワポを大きく印刷してほしい。もしくはPDFで配布していただくと助かる。（2）

4. その他（自由記載）

- ・基礎編ということで、とてもわかりやすい内容でした。今回の講義内容を今後の活動に生かしていきたいと思います。
- ・主治医の認知症関連の薬の処方がいろいろ変わるので不思議でした。今回の講義をうかがい、少し理解ができました。また、自分がこれから学習するべきことも見えてきました。受講してよかったです。
- ・都市部から離れた場所に住んでいるため、WEB開催は非常にありがたく思いました。（2）
- ・この状況下で講義を聴ける機会が少ないので今回聞けてよかった。
- ・資料も送付していただきありがとうございます。講師の先生方にはわかりやすいご講義をいただき、今後の看護実践に生かしていきたいと思いました。日々悩むことも多くありますが、受講者の方々には同じように頑張られている方が多くいることも感じられました。
- ・薬物・非薬物療法どちらも具体的なケア事例を示していただきわかりやすかった。
- ・事例を使って説明して下さったのでわかりやすかったです。

以上